

イーグルス - 良い面と悪い面

しかし、主を待ち望む者は力を新たにされ、鷲のように翼を広げて舞い上がり、走っても疲れることなく、歩いても弱ることなく進む。イザヤ書 40 章 31 節
たとえあなたが鷲のように高く舞い上がり、星々の間に巣を構えたとしても、わたしはあなたをそこから引きずり下ろす、と主は言われる。（オバデヤ書 1:4）

モーセ五書

あなたがたは、わたしがエジプト人にしたこと、そして、わたしが鷲の翼に乗せてあなたがたを運び、わたしのもとに連れてきたのを見た。（出エジプト記 19:4）

そして、あなたがたが鳥類の中で忌み嫌うべきものは次のとおりである。これらは食べてはならない。これらは忌み嫌うものである。鷲、オシドリ、ミサゴ、白鳥、ペリカン、そしてワシ。（レビ記 11:13,18）

しかし、あなたがたは、鷲、オシフラガ、ミサゴ、ペリカン、オオワシ、ウミウを食べてはならない。（申命記 14:12,17）

主は遠くから、地の果てから、鷲が飛ぶように速く、あなたに向かって一つの国民を遣わされる。その国民の言葉をあなたは理解できないであろう。（申命記 28:49）

鷲が巣をかき立て、雛の上を舞い、翼を広げ、雛を抱き上げ、翼に乗せて運ぶように、主だけが彼を導かれた。彼と共に異国の神はいなかった。（申命記 32:11-12）

詩

サウルとヨナタンは生前、愛らしく、愉快な人であった。死に際しても二人は離れることはなかった。彼らは鷲よりも速く、獅子よりも強かった。サムエル記下 1:23

彼らは速い船のように、獲物に向かって急ぐ鷲のように過ぎ去った。ヨブ記 9:26

あなたの命令によって鷲は舞い上がり、高いところに巣を作るのか。ヨブ記 39:27

（ダビデの詩）わが魂よ、主をほめたたえよ。わが内にあるすべてのものよ、その聖なる御名をほめたたえよ。わが魂よ、主をほめたたえよ。主の恵みを決して忘れてはならない。主はあなたの口を良いもので満たし、あなたの若さを鷲のように新しくしてくださる。詩篇 103:1-2,5

あなたは存在しないものに目を向けようとするのか。富は確かに翼を生やし、鷲のように天に向かって飛び去る。箴言 23:5

父をあざけり、母に従うことを軽んじる目は、谷のカラスに抉り出され、若い鷲に食われる。私には理解できない不思議なことが三つある。いや、知らないことが四つある。空を飛ぶ鷲の道、岩の上を歩く蛇の道、海の真ん中を進む船の道、そして男と女の道。箴言 30:17-19

預言者たち

しかし、主を待ち望む者は力を新たにされ、鷲のように翼を広げて舞い上がり、走っても疲れることなく、歩いても弱ることなく進む。イザヤ書 40 章 31 節

見よ、彼は雲のようにやって来る。彼の戦車は旋風のようであり、彼の馬は鷲よりも速い。ああ、私たちは災いだ。私たちは滅びる。エレミヤ書 4:13

主はこう仰せられる。「見よ、彼は鷲のように飛び、モアブの上に翼を広げるであろう。」エレミヤ書 48 章 40 節

岩の裂け目に住み、丘の頂に君臨する者よ、汝の恐るべき行いと心の高慢が汝を欺いた。たとえ鷲のように高いところに巣を築こうとも、わたしは汝をそこから引きずり下ろす、と主は言われる。見よ、彼は鷲のように舞い上がり、ボズラの上に翼を広げる。その日、エドムの勇士たちの心は、産みの苦しみにある女の心のようになるであろう。エレミヤ書 49:16,22

我々を迫害する者たちは天の鷲よりも速く、山々で我々を追い詰め、荒野で待ち伏せした。哀歌 4:19

彼らの顔の似姿は、右側に人の顔と獅子の顔があり、左側に牛の顔があり、また鷲の顔があった。（エゼキエル書 1:10）

そして、それぞれに四つの顔があった。第一の顔はケルビムの顔、第二の顔は人の顔、第三の顔は獅子の顔、第四の顔は鷲の顔であった。（エゼキエル書 10:14）

そしてこう言いなさい。主なる神はこう仰せられる。大きな翼を持ち、長い翼を持ち、羽毛に覆われ、色とりどりの大きな鷲がレバノンにやって来て、杉の木の最も高い枝を取った。また、大きな翼を持ち、羽毛に覆われた別の大きな鷲もいた。見よ、このぶどうの木は根を鷲の方に曲げ、枝を鷲の方に伸ばした。鷲が畑の畝のそばで水をやるためであった。（エゼキエル書 17:3,7）

その時、ネブカドネザルにそのことが成就した。彼は人々から追放され、牛のように草を食べ、その体は天の露で濡れ、髪は鷲の羽のように伸び、爪は鳥の爪のようになった。ダニエル書 4 章 33 節

第一の獣は獅子のようで、鷲の翼を持っていた。私が見ていると、その翼が引き抜かれ、地上から持ち上げられ、人のように足で立たされ、人の心が与えられた。ダニエル書 7 章 4 節

ラッパを口に当てよ。彼らはわたしの契約を破り、わたしの律法に背いたため、鷲のように主の家に攻め寄せるであろう。ホセア書 8:1

たとえあなたが鷲のように高く舞い上がり、星々の間に巣を構えたとしても、わたしはあなたをそこから引きずり下ろす、と主は言われる。（オバデヤ書 1:4）

あなたの繊細な子らのために、あなたの髪を剃り、頭を丸刈りにせよ。鷲のようにあなたの禿げ頭を広げよ。彼らはあなたから捕虜として連れ去られたのだから。ミカ書 1:16

彼らの馬は豹よりも速く、夕べの狼よりも獰猛である。彼らの騎兵は散開し、彼らの騎兵は遠くからやって来る。彼らは獲物を急いで捕らえる鷲のように飛ぶであろう。ハバクク書 1:8

新約聖書

死体のある所には、鷲が集まるからである。（マタイによる福音書 24:28）

彼らは答えて言った、「主よ、どこですか」。イエスは彼らに言われた、「死体のある所には、鷲が集まるだろう」。ルカによる福音書 17:37

第一の獣は獅子のようであり、第二の獣は子牛のようであり、第三の獣は人の顔を持ち、第四の獣は飛ぶ鷲のようであった。（ヨハネの黙示録 4:7）

そして女には大きな鷲の二つの翼が与えられ、彼女は荒野にある自分の場所へ飛んで行った。そこで彼女は、蛇の顔から逃れて、一時、二時、半時の間、養われるのである。（ヨハネの黙示録 12:14）

外典

それから私は夢を見た。見よ、海から鷲が上がってきた。その鷲には十二枚の羽の翼と三つの頭があった。さらに私は見ていた。見よ、鷲はその羽で飛び、地上とそこに住む者たちの上に君臨していた。そして私は見ていた。見よ、鷲はその爪で立ち上がり、その羽に語りかけた。すると鷲の体にはもう何も残っておらず、三つの頭と六つの小さな翼だけが残っていた。すると、ほら、吠えるライオンが森から追い出されたかのようだった。そして、彼が鷲に向かって人の声を発して言ったのを見た。「それゆえ、鷲よ、もう二度と姿を現すな。お前の恐ろしい翼も、邪悪な羽も、悪意に満ちた頭も、傷つける爪も、お前の虚しい体も、すべて消え失せよ。」 第二エズラ書 11:1,5,7,23,37,45

そして、獅子が鷲にこれらの言葉を語っている間に、私は見た。そして私は見た。すると、見よ、それらはもはや現れず、鷲の全身が燃え尽きたので、地は大きな恐怖に陥った。そこで私は心の苦悩と恍惚から、そして大きな恐怖から目覚め、自分の霊に言った。「あな

たが海から上がって来るのを見た鷲は、あなたの兄弟ダニエルの幻の中で見た王国である。そしてそこに住む者たちは、以前の者たちよりも大きな抑圧を受けている。それゆえ、彼らは鷲の頭と呼ばれる。そして、あなたが森から立ち上がり、吠え、鷲に語りかけ、あなたが聞いたすべての言葉で鷲の不正を叱責するのを見た獅子は、

エノク

そして彼らは野獣と鳥を生み出し始め、ライオン、トラ、オオカミ、イヌ、ハイエナ、イノシシ、キツネ、リス、ブタ、ハヤブサ、ハゲワシ、トビ、ワシ、カラスなど、さまざまな種類が生まれた。そしてその中に白い雄牛が生まれた。エノク書 89:10

その後、私は幻の中で、鷲、ハゲタカ、トビ、ワタリガラスなど、天のすべての鳥が来るのを見た。鷲がすべての鳥を先導し、羊を食い始め、目をえぐり出し、肉をむさぼり食った。羊は鳥に肉をむさぼり食われるので叫び声をあげた。私は夢の中で、羊を飼っていた羊飼いのことを嘆き悲しんだ。そして、羊が犬や鷲やトビに食い尽くされ、肉も皮も腱も残らず、骨だけが残るまで見た。骨も地に落ち、羊は数が少なくなった。エノク書 90:2-4

それにもかかわらず、鷲やハゲワシやカラスやトビはなおも羊を引き裂き、襲いかかって食い尽くし続けた。羊は沈黙を守り続けたが、雄羊は嘆き悲しんだ。そして、羊飼いたちと鷲やハゲワシやトビがやって来て、カラスに雄羊の角を折るように命じ、雄羊と戦い、雄羊も戦い、助けを求めて叫んだ。鷲やハゲワシやカラスやトビは皆集まり、野の羊たちも皆一緒にやって来て、皆で力を合わせて雄羊の角を折った。エノク書 90:11,13,16

罪人の苦難の日には、汝らの子らは鷲のように舞い上がり、汝らの巣はハゲタカよりも高くなるであろう。汝らは地の裂け目に入り、不義なる者の前では永遠に岩の裂け目に入り、セイレーンは汝らのために嘆き悲しむであろう。エノク書 96:2

聖書の失われた書物

しかし、なぜモーセは「豚、鷲、鷹、カラス、鱗のない魚を食べてはならない」と言ったのでしょうか? 答えは、霊的な意味で、そこから集められるべき三つの教義を彼は包含していたからです。彼はまた、「鷲、鷹、鳶、カラスを食べてはならない」と言っています。つまり、自分の労働と汗によって食物を得る方法を知らず、他人の物を悪意をもって奪い、同時に完全に無垢な生活を送っているように見える人々に罠を仕掛ける方法を見張っているような人々と交際してはならないということです。バルナバの一般書簡 9:1,4

忘れられたエデンの書

王が彼を見ると、彼は困窮した様子で、髪は野獣のように長く伸び、爪は鷲の爪のようで、体は塵にまみれ、顔色は変わり、色あせて灰のようになっていた。アヒカルの物語 4:26

ハイカルは自分の住まいに行き、猟師たちに二羽の若い鷲の雛を捕らえるように命じた。猟師たちは雛を捕らえて彼のもとへ連れてきた。また、彼は縄職人たちに、それぞれ二千キュビトの長さの綿の縄を二本編むように命じた。さらに大工たちを呼び寄せ、大きな箱

を二つ作るように命じた。大工たちはその通りにした。それから彼は二人の少年を連れてきて、毎日子羊を犠牲に捧げ、鷲と少年たちに餌を与え、少年たちを鷲の背に乗せた。そして、少年たちをしっかりと結び、縄を鷲の足に結びつけ、毎日少しずつ十キュビトの高さまで上昇させて、少年たちがそれに慣れて訓練されるまで続けた。少年たちが背中に乗っている鷲たちは、縄の長さ分だけ空にまで上昇した。それから彼は少年たちを自分のところに引き寄せた。アヒカルの物語 5:10-11

そこで王は飛び起き、ハイカルと共に座り、広い場所へ行き、鷲と少年たちを連れてくるように命じた。ハイカルは彼らを縛り、縄の端から端まで空中に放った。すると彼らは、ハイカルが教えたとおりに叫び始めた。それからハイカルは彼らを自分のところに引き寄せ、それぞれの場所に置いた。王と彼に付き添っていた者たちは大いに驚いた。王はハイカルの両目の間に口づけをして言った。「安らかに行きなさい、わが愛する者よ！わが王国の誇りよ！エジプトへ行き、ファラオの問いに答え、いと高き神の力によって彼を打ち負かしなさい。」それから王はハイカルに別れを告げ、兵士たちと軍隊、若者たちと鷲たちを連れてエジプトの住居へと向かった。そして到着すると、王の国へと向きを変えた。アヒカルの物語 5:16-18

王は彼のためにそれらすべてを準備し、彼らは広い場所へ行った。ハイカルと彼の息子たちはそこへやって来て、鷲と若者たちを連れて行った。王とすべての貴族たちも、そして都の住民全員が集まり、ハイカルが何をするのかを見ようとした。それからハイカルは鷲を箱から放ち、若者たちを鷲の背中に縛り付け、鷲の足に縄を結び、空へ放った。鷲たちは天と地の間に留まるまで、高く舞い上がった。アヒカルの物語 6:11-12

おお、我が子よ！鷲の老いはカラスの若さに勝る。アヒカル物語 7:48

ヤコブの鹿は喜びにあふれて走り、イスラエルの鷲は歓喜にあふれて飛ぶであろう。そして、すべての民は永遠に主をあがめるであろう。ユダの遺訓 4:32

すると、地上に雄牛が現れた。二本の大きな角を持ち、背中には鷲の翼があった。私たちはそれを捕らえようとしたが、できなかった。しかし、ヨセフが来て、それを捕らえ、共に天に昇った。ナフタリの遺訓 2:6-7